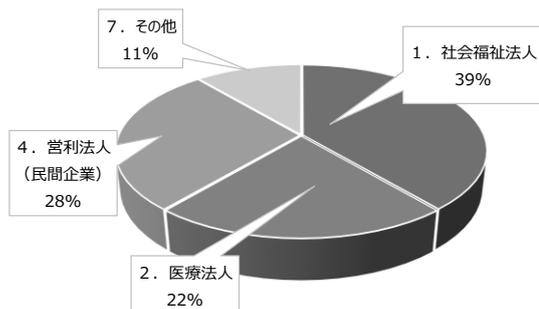


サービス提供事業者調査の結果

- 本市の高齢者の方にサービスを提供されている事業者の皆さんに、現在のサービス提供の状況や今後のサービス提供のあり方などについて伺いました。
- 送付先は18法人です。
- 18法人全てから回答をいただきました(回収率100%)。

問1 事業者の組織形態(SA)

1. 社会福祉法人	7
2. 医療法人	4
3. 民法法人（社団、財団）	0
4. 営利法人（民間企業）	5
5. 特定非営利活動法人（NPO）	0
6. 生活協同組合・農業協同組合	0
7. その他	2
8. 不明	0



問2 提供しているサービス(MA)

サービス	件数	割合
1. 居宅介護支援	10	15.6%
2. 訪問介護	6	9.4%
3. 訪問入浴介護	1	1.6%
4. 訪問看護	5	7.8%
5. 訪問リハビリテーション	4	6.3%
6. 居宅療養管理指導	1	1.6%
7. 通所介護	9	14.1%
8. 通所リハビリテーション	3	4.7%
9. 短期入所生活介護	6	9.4%
10. 短期入所療養介護	2	3.1%
11. 特定施設入居者生活介護	1	1.6%
12. 小規模多機能型居宅介護	1	1.6%
13. 夜間対応型訪問介護	0	0.0%
14. 認知症対応型通所介護	1	1.6%
15. 認知症対応型共同生活介護	6	9.4%
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0%
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.6%
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0.0%
19. 複合型サービス	0	0.0%
20. 介護老人福祉施設	4	6.3%
21. 介護老人保健施設	2	3.1%
22. 介護療養型医療施設	0	0.0%
23. 福祉用具貸与	1	1.6%

※(SA)=択一回答(ひとつに○)、MA=複数回答(以下同)

2-2 利用者からの利用申し込みへの対応状況(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	新たな利用申し込みを受け ける余裕が十分ある	新たな利用申し込みを受け ける余裕がややある	新たな利用申し込みを受け ける余裕はないが、申し 込みは受けている	新たな利用申し込みを受け ける余裕はなく、申し込 みを断っている	不明
1. 居宅介護支援	4	4	1	0	0
2. 訪問介護	1	4	0	0	0
3. 訪問入浴介護	1	0	0	0	0
4. 訪問看護	3	2	0	0	0
5. 訪問リハビリテーション	0	4	0	0	0
6. 居宅療養管理指導	0	1	0	0	0
7. 通所介護	4	3	1	0	0
8. 通所リハビリテーション	1	2	0	0	0
9. 短期入所生活介護	2	2	1	0	0
10. 短期入所療養介護	1	0	1	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	0	0	1	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	1	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	0	0	4	0	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	1	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	0	0	3	0	0
21. 介護老人保健施設	1	0	1	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	1	0	0	0	0

※表中の数値は回答数を示します。回答のあったものに網掛けをしています。(以下同)

2-3 提供しているサービスに対する利用者からの苦情(MA)

	特に苦情は受けていない	サービス内容に関するもの	利用手続きに関するもの	職員の態度に関するもの	施設・設備に関するもの	保険外負担（その他日常生活費等）に関するもの	その他	不明
サービスの種類 (介護予防サービスを含む)								
1. 居宅介護支援	9	1	1	1	0	0	0	0
2. 訪問介護	2	2	0	3	0	0	0	0
3. 訪問入浴介護	1	0	0	0	0	0	0	0
4. 訪問看護	5	0	0	0	0	0	0	0
5. 訪問リハビリテーション	3	0	0	0	0	0	1	0
6. 居宅療養管理指導	1	0	0	0	0	0	0	0
7. 通所介護	4	2	0	1	0	0	0	0
8. 通所リハビリテーション	1	1	0	1	0	0	0	0
9. 短期入所生活介護	1	2	0	2	0	0	0	0
10. 短期入所療養介護	2	0	0	0	0	0	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	0	1	0	0	0	0	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	1	0	1	0	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	2	2	0	2	0	0	0	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0	0	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	2	0	0	2	0	0	0	0
21. 介護老人保健施設	1	1	1	0	0	0	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	1	0	0	0	0	0	0	0

2-4 利用者からの利用料等の徴収状況(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	特に支障なく徴収できている	徴収する際に支障がある場合がある	どちらともいえない	不明
1. 居宅介護支援	6	0	0	0
2. 訪問介護	4	1	0	0
3. 訪問入浴介護	1	0	0	0
4. 訪問看護	4	0	0	0
5. 訪問リハビリテーション	3	1	0	0
6. 居宅療養管理指導	1	0	0	0
7. 通所介護	8	0	0	0
8. 通所リハビリテーション	2	2	0	0
9. 短期入所生活介護	3	2	0	1
10. 短期入所療養介護	1	1	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	1	0	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	4	1	0	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	3	0	1	0
21. 介護老人保健施設	1	1	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	1	0	0	0

2-5 令和2年度の収支状況見込み(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	黒字である	収支はほぼ均衡	赤字である
1. 居宅介護支援	1	5	4
2. 訪問介護	1	0	3
3. 訪問入浴介護	0	0	1
4. 訪問看護	1	2	2
5. 訪問リハビリテーション	0	2	1
6. 居宅療養管理指導	0	1	0
7. 通所介護	0	5	3
8. 通所リハビリテーション	0	2	1
9. 短期入所生活介護	1	3	2
10. 短期入所療養介護	1	1	0
11. 特定施設入居者生活介護	1	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	1	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	1	3	2
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	1	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	1	3	0
21. 介護老人保健施設	1	1	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0
23. 福祉用具貸与	0	0	1

2-6 令和元年度のサービスの利用状況と当初利用見込量との比較(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	見込量より大幅に多い	見込量よりやや多い	ほぼ予定通り	見込量よりやや少ない	見込量より大幅に少ない	不明
1. 居宅介護支援	0	0	3	3	2	0
2. 訪問介護	0	0	2	3	0	0
3. 訪問入浴介護	0	0	0	1	0	0
4. 訪問看護	1	0	0	3	0	1
5. 訪問リハビリテーション	0	1	1	0	0	2
6. 居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0
7. 通所介護	0	0	3	5	0	0
8. 通所リハビリテーション	0	0	0	2	1	0
9. 短期入所生活介護	0	0	4	2	0	0
10. 短期入所療養介護	0	1	1	0	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	0	0	1	0	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	0	1	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	0	0	3	2	1	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	1	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	0	1	2	1	0	0
21. 介護老人保健施設	0	0	1	1	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	0	0	0	0	1	0

2-7 現行の指定基準(人員、設備、運営に関する基準)について(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	おおむね妥当である	より厳しい基準とすべきである	一部基準の緩和を図るべきである	その他
1. 居宅介護支援	8	0	2	0
2. 訪問介護	2	0	3	0
3. 訪問入浴介護	1	0	0	0
4. 訪問看護	4	0	1	1
5. 訪問リハビリテーション	4	0	0	0
6. 居宅療養管理指導	0	0	0	0
7. 通所介護	5	0	4	0
8. 通所リハビリテーション	2	1	0	0
9. 短期入所生活介護	4	0	2	0
10. 短期入所療養介護	1	0	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	1	0	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	5	0	1	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	3	0	1	0
21. 介護老人保健施設	1	1	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	1	0	0	0

2-8 サービスの提供内容から判断した現行の介護報酬について(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	おおむね 妥当である	もっと 引き下げる べきである	もっと 引き上 げるべ きである	そ の 他	不 明
1. 居宅介護支援	5	0	5	0	0
2. 訪問介護	0	0	5	0	0
3. 訪問入浴介護	0	0	0	0	1
4. 訪問看護	4	0	2	0	0
5. 訪問リハビリテーション	4	0	0	0	0
6. 居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
7. 通所介護	3	0	6	0	0
8. 通所リハビリテーション	2	0	1	0	0
9. 短期入所生活介護	2	0	4	0	0
10. 短期入所療養介護	0	0	1	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	2	0	4	0	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	1	0	3	0	0
21. 介護老人保健施設	1	0	1	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	1	0	0	0	0

2-9 円滑な事業運営を進めていくうえで、現在、特に困難を感じること(MA:3つまで)

	特に困難を感じることはない	従事者の確保が難しい	利用者の確保が難しい	事務作業が多い	施設・設備の改善が難しい	必要な情報の入手に支障がある	従事者の資質向上を図ることが難しい	利用者や家族の制度に対する理解が進んでない	市等との連携を図ることが難しい	その他
サービスの種類 (介護予防サービスを含む)										
1. 居宅介護支援	1	2	3	10	0	0	1	1	0	0
2. 訪問介護	0	5	1	2	0	0	2	3	0	0
3. 訪問入浴介護	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4. 訪問看護	0	3	2	1	0	0	1	1	0	0
5. 訪問リハビリテーション	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
6. 居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 通所介護	0	5	4	4	4	0	2	1	0	0
8. 通所リハビリテーション	0	1	2	2	2	0	0	2	0	0
9. 短期入所生活介護	0	5	1	4	3	0	1	1	0	1
10. 短期入所療養介護	0	1	1	0	1	0	1	2	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	0	5	1	2	2	0	2	2	0	0
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	0	4	0	3	2	0	2	1	0	0
21. 介護老人保健施設	0	1	1	1	1	0	2	2	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

(事業運営で困難を感じること)ご意見
 当然のことではあるが、ご利用者数が安定しないこと。急な入院など、続くときは続くので。あと、コロナ感染予防・感染拡大防止についての取り組みを正直どの程度すればいいのか、現状でいいのかがわからない。

2-10 今後の事業展開について(SA)

サービスの種類 (介護予防サービスを含む)	新規参入を 考えている	拡大を 考えている	現状の まま	縮小を 考えている	不明
1. 居宅介護支援	0	0	9	0	0
2. 訪問介護	0	0	3	0	1
3. 訪問入浴介護	0	0	0	0	1
4. 訪問看護	0	0	4	0	0
5. 訪問リハビリテーション	0	0	4	0	0
6. 居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
7. 通所介護	0	1	5	1	1
8. 通所リハビリテーション	0	0	3	0	0
9. 短期入所生活介護	0	0	4	0	1
10. 短期入所療養介護	0	0	2	0	0
11. 特定施設入居者生活介護	1	0	1	0	0
12. 小規模多機能型居宅介護	0	0	1	0	0
13. 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
14. 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0
15. 認知症対応型共同生活介護	0	0	5	0	1
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	0	0	0
18. 定期巡回・随時対応型訪問看護	0	0	0	0	0
19. 複合型サービス	0	0	0	0	0
20. 介護老人福祉施設	0	0	4	0	0
21. 介護老人保健施設	0	0	2	0	0
22. 介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
23. 福祉用具貸与	0	0	1	0	0

問3 「新規参入」「拡大」「縮小」の(予定)時期と内容

サービスの種類	(予定) 時期	具体的な内容
---------	---------	--------

【新規参入】

特定施設入居者生活介護	未回答	サ高住から特定施設へ移行
-------------	-----	--------------

【拡大】

通所介護	未定	定員の増員
------	----	-------

【縮小】

通所介護	未回答	現状の定員 30 名でよいのかどうか
------	-----	--------------------

※空欄は記入なし

問4 その他の問題点や課題

【居宅介護支援】

- CMの後継者がいない(CMになりたい人がいない)。CM業務量が多く(どこまですればよいのか)不安がある。
- 主任介護支援専門員の要件・配置義務が延期されましたが、継続的な人員確保について不安がある。仕組み(制度)が変更される等の事前情報への対応。
- キーパーソンが不明確は利用者があり、監急時の対応に苦慮している。ネグレクトにあたるようなご家族がたまにみられる。
- 居宅を持つ法人内の介護事業所を優先に利用させる抱え込みが現在もある。ご利用者のご家族から「次回からショートの利用がなぜか1泊2日から2泊3日になった」という相談を受けたことがある。
- 困難事例の対応など、一事業所では解決できないことを一緒に取り組んでほしい。

【訪問介護】

- 従業員の確保が困難。一部のサービス(通院等乗降介助:介護タクシー)について、特に報酬が少なく、経営を続けることにも困難な状況がある。
- 職員の補充。資質の向上。

【訪問看護】

- 病院によるみなし指定であるため、人員基準等はゆるいが、医療での訪問看護等もあるため混同することで周知等が進んでいない(利用者だけでなく病院側にもある)。
- 利用者様の希望時間が重なり、受入れが困難なときがある。

【訪問リハビリテーション】

- 医師からの指示について厳格な対応が必要となったが、利用者と主治医や事業所医師との関係により、対応が困難となった事例があった(利用者の診察拒否による)。

【通所介護】

- ご利用者やそのご家族にウイズコロナの新しい生活様式の意識を定着させてもらいたいが、それがなかなか難しい。地道に日々ご説明とご協力をいただけるようにとお願いするほかないとは思いますが、それに伴うスタッフの労力やモチベーションをどうやって保ち続けられるか、管理者として日々思い悩んでいるところです。
- コロナ感染予防・感染拡大防止についての取り組みが、他の事業所さんとの考え方の違いがあり、当事業所と他事業所の両方をご利用される方にとっては、混乱を招いていると思われます。
- コロナ感染防止のためマスクをして、デイサービスで過ごしていただいているが、口元、表情が見づらく、伝わりにくい。
- 家族の方が本人様の状態について、どこまで理解されているのかと気になることがある。連絡帳で利用時の状況をお伝えしたり、担当のケアマネジャーへ報告しているが、なかなか改善が難しいこともある。
- 看護師等専門職を探すのが大変です。

【通所リハビリテーション】

- セラピストを専任で置ける対応が、人員確保の面から難しい。

【短期入所生活介護】

- キーパーソンのお子どもさんが他県にいて、受診の対応ができないときがある。
- 看護師等専門職を探すことが難しいです。

【短期入所療養介護】

- 空所利用型であることもあり、利用者の定期的な利用には難しい面がある。

【特定施設入居者生活介護】

- 軽費老人ホームであり、事務的な手続や申請等に労力をさかれることが多い。インターネットに勝手に載せてある情報が間違っていることが多々あり、訂正対応がとりにくい。
- サービス付き高齢者向け住宅は外部サービスのため、ご家族に理解が難しく、自己負担が大きく限界を感じています。特定施設に移行することにより、サービス品質の向上や施設経営の健全化・安定化のために認可してほしいです。

【認知症対応型通所介護】

- 通常の通所介護より単価が高いため、利用が少ない。

【認知症対応型共同生活介護】

- 従業員の確保(特に夜勤が可能な職員)。入所者の申込み等が減っている。将来的な確保に不安がある。
- 家族が担当者会議への参加が難しい。利用者様の対応が多岐にわたり、苦慮している。
- 家族へ本人様の状況等をお伝えするが、十分理解していただけず、苦情を伝えられたことがある。
- 職員の高齢化(最高年齢 69 歳、60 歳代が 33 名中 11 名)が進み、継続して求人を行っているが、若い方の応募が少ないのが現状。特に、若い職員には、自らのスキルアップのためにも、介護福祉士の国家試験を目指していただけるよう促している。
- 施設で高額な介護用品(エアマット)等を購入することは厳しい状況にあるので、施設入所している方でも福祉用具貸与を利用できるように制度を見直してほしい。

【介護老人福祉施設】

- 入所申込者の減少(人口減少、市内に福祉施設増)。入所申込者が重度化している(入所されてもすぐに入院になることが多い)。介護従事者の平均年齢が高い。

【介護老人保健施設】

- 入所者の確保、セラピストの確保が難しい状況にある。
- 要介護2の方のご家族が入所予約に来られますが、介護度の軽い方の入所は予約できても順番はなかなか回ってこないことを伝え、サ高住を勧めますが、サ高住の料金が高すぎて困る方が多い。

問5 現在、介護に関わる職員の人数は足りているか

※回答事業者ごとに記載。空欄は記入なし。

1. ケアマネジャー

不足人数	かかえる問題、要望、取り組んでいること等
1人	ハローワークでの求人や職員の知人等の紹介をお願いしているが反応がない。
1人	
1人	現在、3名のケアマネジャーが勤務しているが、1名が69歳のため、資格の次の更新は行わないと話されている。そのため、後任につて、現在検討している。現在勤務している職員にもケアマネジャーの試験に挑戦されるよう声かけをしている。

2. ホームヘルパー

不足人数	かかえる問題、要望、取り組んでいること等
	職員の高齢化が進みつつあり、今後を見据えた人員の確保を行っていく必要がある。
4人	日中は足りていますが、夜勤者が不足。現在平均1人月6日夜勤をしています。労基ギリギリで運営中です。
2人	人間関係づくり、コミュニケーション、信頼関係づくりの内部研修や企画などを全職員で取り組み、離職者を減らす。

3. 介護福祉士

不足人数	かかえる問題、要望、取り組んでいること等
2人	
1人	ハローワークでの求人や職員の知人等の紹介をお願いしているが反応がない。
10人	現在、在職者で資格取得者が11名いるが、ホーム全体の資格向上を目指して、実務者研修修了者も介護福祉士の資格取得のため（自らのスキルアップのため）、挑戦してほしいと考えている。そのため、資金の件、休み（研修受講のため）の件など相談に応じている。
2人	人間関係づくり、コミュニケーション、信頼関係づくりの内部研修や企画などを全職員で取り組み、離職者を減らす。
4人	夜勤ができるスタッフを募集しているが、応募者がいない状況が続いている。現在夜勤をしているスタッフが1人でも欠けてしまうと施設運営が困難となってしまう。
2人	従業者の半数程度が介護福祉士であるが、職員の高齢化も進んでいる現状で、退職等により加算の増減の頻度が多くなったり、突発的な休業等により、サービスの質の低下につながるが見込まれる。

5. 理学療法士

不足人数	かかえる問題、要望、取り組んでいること等
1人	ハローワーク、学校等で求人をかけているが、地元出身者でない限り、確保が難しい。
1人	事業所の専任等の対応、リハビリの充実が難しい（老健の施設区分を加算型から在宅強化型移行への取り組みの一環）。
1人	現在、看護師が機能訓練をしていますが、PT・OPが訓練した方が身体の改善が良いが、病院勤務の方が給与が良いので、介護施設には来ていただけません。

6. 作業療法士

不足人数	かかえる問題、要望、取り組んでいること等
1人	ハローワーク、学校等で求人をかけているが、地元出身者でない限り、確保が難しい。
1人	事業所の専任等の対応、リハビリの充実が難しい（老健の施設区分を加算型から在宅強化型移行への取り組みの一環）。
1人	現在、看護師が機能訓練をしていますが、PT・OPが訓練した方が身体の改善が良いが、病院勤務の方が給与が良いので、介護施設には来ていただけません。

問6 今後、市が取り組むべきことなどについてのご要望やご意見

事業所における、もっと具体的なコロナ感染予防・拡大防止策をご指導いただけるとありがたいです。事業所ごとに考え方の違いがあるのはわかりますが、平戸市ではここまでやろうというような平戸市モデルみたいなものがあるとやりやすいと思います。

住み慣れた地域で最後まで暮らすためには、地域包括ケアシステムの1日も早い構築が必要です。平戸市では、介護や医療が置き去りになり、一部の人々により進められているので、一向に進展がない。平戸市には、介護、医療経営者(理事長・医院長)の集まりがありません。多職種連携をする必要があるが、決定権がある市長はじめ、各施設の長が集まり、方向性を揃えて構築した方が前進するのではないのでしょうか。

平戸市介護職人材確保支援事業を継続して行っていただくことで、現在勤務している介護職員も介護福祉士などに挑戦しようとしています。介護の仕事に少しでも魅力を感じてもらい、長く働いていただけるような支援をお願いします。

平戸市の予算が継続して確保できるのかは気になりますが、介護職員の確保のためにもよろしくお願いします。

介護報酬を上げる。人口が減少している地域としての地域区分を設けて、介護報酬に対して数%の加算を設けて給与にする(アンケートの回答はあまり公表してほしくないです)。

民間法人と社会福祉法人の給与格差を減らす策を講じてほしい。例えば、民間法人の介護従事者の所得税等を減税にして、手取りを増やす等で調整できないものか？

介護というものについてもっと学べる機会をつくってほしい。介護はどんな人でも安易に職に就くことができる分、介護に対する考え方に不安を感じることもある。人材育成の観点から、介護の質の向上や介護に対する考え方について学んでもらうことは必要だと思う。どんな人でも人権や尊厳はあり、人として扱い接することは大切。そういう基本的な考えについて勉強できる場をつくってほしい。研修案内で介護技術等のパンフレットを目にしますが、まずは介護について学ぶことが大切だと思う。介護の仕事に就いても就かなくても、高齢者に優しい人・街であってほしい。

人の往来でウイルスは移動していくと言われております。近い将来、平戸市内で新型コロナウイルスが蔓延した場合、計り知れない労力と費用が必要であり、市内の介護施設等の協力体制が必要不可欠になるのではと判断しますが、協力体制の確立等をお願いいたす次第です。

年金額の少ない人は、グループホーム等の利用をしたくても利用をあきらめている。一部補助等が必要だと思う。